

## 家庭における非行防止10ポイント

### ポイント1 子供を放任するな～子どもを育てる責務の自覚を

- (1) 親は子供の行動に責任を持とう。
- (2) 子供の身のまわり、行動に注意を払おう。
- (3) 父親も子供の教育に参加しよう。

### ポイント2 親の権威を失うな～しつけに自信を

- (1) しつけの基本は、昔も今も変わらない。
- (2) しかるべきときには、き然としかろう。
- (3) 子供のいいなりにはならないようにしよう。

### ポイント3 子は親を写す鏡であることを忘れるな～自らをきびしく

- (1) 親は身近な大人の見本
- (2) 子供に教えたことは、自分で「模範」を示そう。
- (3) ふしだらな親からは子が逃げる。

### ポイント4 親子の対話を忘れるな～子供の理解を

- (1) 子供に積極的に話しかけよう。
- (2) 子供からの話しかけには、すぐに応じよう。
- (3) 親の立場で聞き、子の立場になって話そう。

### ポイント5 子供に善悪のけじめをつけさせることを忘れるな～生活基本 マナーを

- (1) うそをつかない、約束を守る子供にしよう。
- (2) やっていいことと、悪いことのけじめをくり返して教えよう。
- (3) 悪い行いは、他人の子でも注意しよう。

## **ポイント6 子供に過度の期待をかけるな～適切な目標と進路を**

- (1) 親の一方的願望や見栄で子供をかり立てることをやめよう。
- (2) 兄弟をいつも引き合いに出してしかるのをやめよう。
- (3) 子供がやる気を起こす無理のない目標を持たせよう。

## **ポイント7 子供を甘やかすな～忍耐力と自律心を**

- (1) 子供の欲望を次から次へと満たしてはならない。
- (2) 物わがりのよい親であることに要注意。
- (3) つらさに耐えさせ、たくましい子に。

## **ポイント8 小さい時からしつけることを怠るな～後で悲しまないために**

- (1) 幼児期に生活の基本マナーをきちんと身につけさせよう。
- (2) かわいいだけではダメにする。
- (3) 後悔した時では遅すぎる。

## **ポイント9 二つしかったら三つほめる心がけを忘れるな～いつも励ましと温かさを**

- (1) ほめることは、子供にやる気と励みを与える。
- (2) 頭ごなしや、ムラのある感情的なしかり方は逆効果。
- (3) 子供には、いつも希望と自主性を持たせよう。

## **ポイント10 子供に目標を持たせることを忘れるな～若いエネルギーの方向を正しく**

- (1) 年齢に応じた目標、夢を持たせよう。
- (2) 自分で判断し、行動に責任を持たせよう。
- (3) 過度の干渉を避けて自立心を助けよう。